

<応募資格>

- 1 各区分に応じ、次に掲げる条件を具備していること。

[大学生・短大生の場合]

- ① 県内の高等学校を卒業した者、若しくは高等学校卒業程度認定試験若しくは大学入学資格検定に合格した者。(合格当時県内に住所を有していた場合に限る。)・・・入学又は入学する目的をもって住所を移転するまで県内に引き続き6ヶ月以上住所を有していること。
- ② 県外の高等学校を卒業した者・・・卒業の月に福島県奨学資金を受けていたこと。

[高等専門学校生の場合]

- ① 県内に所在する学校に在学する者・・・県内に引き続き6ヶ月以上住所を有していること。
- ② 県外に所在する学校に在学する者・・・入学又は転学するまで県内に引き続き6ヶ月以上住所を有しており、かつ、保護者が県内に6ヶ月以上住所を有していること。

- 2 在学大学・学校より推薦を受けるには、次に掲げるすべての基準を満たしていることが必要です。

【学 力】

[大学生・短大生の場合]

高等学校における最終2ヵ年の全履修科目の評定を合計し、これを全履修科目数で割った値(小数点第2位四捨五入)が3.0以上であること。ただし、2年生以上の場合は、さらに大学における学業成績が本人の属する学部(科)の平均水準以上であること。

[高等専門学校生の場合]

中学校における最終2ヵ年の全履修教科の評定を合計し、これを全履修教科数で割った値(小数点第2位四捨五入)が3.0以上であること。ただし、2年生以上の場合は、さらに高等専門学校における学業成績が本人の属する学科の平均水準以上であること。

【所 得】

本人の生計を主として維持する者の1年間の総収入金額から必要経費及び特別控除額を差し引いた所得金額が、規定する所得基準額以下であること。

(詳細は、別紙「所得金額の求め方」をご覧ください。)

<注意事項>

- 1 応募資格の条件を満たし、大学・学校からの推薦を受けて応募いただくようになります。
- 2 同種類(貸与型)の修学資金を他から受けていないこと。

※ 他団体の奨学資金との併願のみ可能。併用は不可。

なお、本県奨学生に採用後に併用が発覚した場合は、奨学生決定当初に遡及して奨学生を取り消します。

- 3 過去に福島県奨学資金を全修学期間貸与された者又は現に貸与されている者は申し込みできません。

<必要書類>

1. 福島県奨学生願書（第1号様式）

- ① 記載にあたっては、「記載例」及び「願書裏面の注意事項」をよく読み、読みやすい字で記入してください。
- ② 本籍及び現住所は番地まで正確に記入してください。
- ③ 申請者の住所は現在居住している住所を記入してください。
- ④ 保証人は2人（連帯保証人と保証人）立てていただきます。
 - ※ 連帯保証人については、県内に居住する親権者等です。
 - ※ 保証人については、成年者であり、本人及び連帯保証人と別生計で、独立の生計を営み（別居）、奨学資金の返還の責めを負うことができる程度の資力を有した方で、やむを得ない場合を除き65才以下の方にしてください。
- ⑤ 記入誤りを訂正する場合は、二重線を引き、その上に押印してから余白に正しく記入してください。（修正ペン、修正テープの使用不可）

2. 福島県奨学生推薦調書（第2号様式） ※ 在学している大学・学校で記載

※ 2年生以上の者が申請する場合、出身高等学校の成績及び在学学校の成績が必要です。

3. 出身学校の成績証明書 ※高等専門学校生は必要ありません。

出身高等学校より成績証明書（調査書不可）を取り寄せてください。

4. 平成28年度（平成27年分）所得証明書（就学者以外の世帯全員のもの）

※ 源泉徴収票は不可。

- ① 就学者以外は、無職、年金受給者の方も提出してください。
- ② 平成27年の中途又は平成28年中に退職、転職（開業・転業・勤務先変更も含む）等がある場合は、他に書類を提出していただく場合がありますので、お問い合わせください。

5. 住民票謄本（本籍記載の世帯票） ※ マイナンバー（個人番号）の記載がないもの

- ① 同一生計の方全員分です。別居している方も提出が必要です。
- ② 戸籍謄本は不可です。
- ③ 申請者本人が住民票と異なる住所に居住している場合は必ず「在寮証明書」又は「居住証明書※」を提出してください。
 - ※ 居住先の管理者に居住の証明書を発行してもらうようになります。

6. 保証人の住民票抄本（本籍記載の個人票） ※ マイナンバー（個人番号）の記載がないもの

7. 口座振替による支払申出書（ゆうちょ銀行の場合は見開き1ページ目のA4コピーを必ず添付）

- ① 普通預金口座のみ有効。（貯蓄型口座への振込はできません。）
- ② 申請者（学生）名義の口座となります。
- ③ 金融機関で金融機関名、口座番号等の確認を受けてください。
 - ※ 金融機関の確認を受けることができない場合は、通帳（金融機関名、店舗名、口座番号、口座名義人がわかる部分）のA4コピーを添付してください。
- × 自宅外通学者の場合は、本人の実際の居住住所を記入してください。
- ⑤ 用紙右下の署名・捺印を忘れずに行ってください。

<<注意>>

・ 居住証明書
・ 特別の事情にかかる経費内訳
・ 給与支払（見込）証明書



該当者のみ提出

返還について

奨学資金は貸付金です。貸与が終了すると、奨学生本人に返還義務が生じます。返還金は後輩奨学生の奨学資金として直ちに活用される重要なものです。福島県奨学資金の申請にあたっては、申請者及び連帯保証人並びに保証人において、卒業後の返還義務を十分に御理解の上、申請されますようお願いいたします。

また、返還方法は、福島県の納入通知書による金融機関（ゆうちょ銀行を除く）窓口での納入のみになります。口座振替等の取扱いはありませんので注意してください。

なお、返還の目安については、下表をご参照ください。

返還額の例

		貸与年	貸与月額	貸与月数	貸与総額	半年賦額	回数	年数
大学	国公立	4	35,000円	48月	1,680,000円	60,000円	28回	14年
	私立	4	40,000円	48月	1,920,000円	64,000円	30回	15年
短期大学	国公立	2	35,000円	24月	840,000円	42,000円	20回	10年
	私立	2	40,000円	24月	960,000円	48,000円	20回	10年
高等専門学校		5	18,000円	60月	1,080,000円	49,000円	22回	11年

※ 端数は初回返還金で調整されます。

問い合わせ先

在学する大学・学校もしくは県高校教育課（下記）まで

〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16

福島県教育庁高校教育課

Tel:024-521-7775(直通) Fax:024-521-7973

福島県奨学資金

検索

福 島 県 奨 学 生 願 書		※受付号									
		※決定号		高・大 第 号							
		ふりがな		性別							
		氏 名									
		生年月日		年 月 日 (満 歳)							
在 学 学 校	立		本 籍								
	部 科 学年		現 住 所		電話番号 ()						
同上の 所在地		希望事項		貸与月額 円							
				貸与期間 年 月から 年 月まで							
				大学等入学一時金 円							
家 族 の 状 況	氏 名 <small>(生計維持者と別居している者にはX印をつけること。)</small>	続柄	年齢	職 業	勤 務 先 又 在 学 先	疾病の 有 無	収入(税込) 額 千円	所得(税込) 額 千円	※		
	1	本人									
	2										
	3										
	4										
	5										
	6										
	7										
	8										
	9										
	10										
	計	名									
連 帯 保 証 人	ふりがな					保 証 人	ふりがな				
	氏 名						氏 名				
	生年月日	年 月 日 (満 歳)					生年月日	年 月 日 (満 歳)			
	本人との 続 柄		年間収入 (税込)	千円			本人との 続 柄		年間収入 (税込)	千円	
	本 籍						本 籍				
	現 住 所	電話番号 ()					現 住 所	電話番号 ()			

裏面の記載上の注意を読んでから記入してください。

(裏)

参	奨学金を希望する理由					
	現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金	有・無	修学のための資金の名称		資金の種類	
					貸与 ・ 給付	
					貸与 ・ 給付	
考	本人の履歴	年 月 日	履 歴			
		年 月 日	立 中学校入学			
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
		年 月 日				
事	1カ月当たりの平均学費 (収入=支出)	収 入		支 出		備 考
		家 庭 か ら	円	生 活 費	円	
		アルバイト等から	円	交 通 費	円	
		県奨学資金から	円	学 校 納 付 金	円	
		そ の 他 か ら	円	書 籍 ・ 学 用 品	円	
				そ の 他	円	
	計	円	計	円		
以上の記載事項に相違ありません。 奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り奨学生としての責務をはたすことはもとより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。						
上記のとおり保証人と連署して誓約します。						
年 月 日						
福島県教育委員会教育長						
申請者 (自筆)						印
連帯保証人 (自筆)						印
保証人 (自筆)						印

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) 連帯保証人とは、福島県奨学資金貸与条例第5条第2項に規定する者をいう。
- (3) 現在受けている、又はこれから受けようとする他の修学のための資金が有る場合は「修学のための資金の名称」の欄に当該資金の名称を記入し、「資金の種類」の欄の該当する種類を○で囲んでください。
- (4) 「本人の履歴」の欄には、中学校入学以来の学歴、職歴等について記入し、休学、転学、退学等の身分の異動については、理由を付して記入してください。
- (5) 「1カ月当たりの平均学費」の欄には、在学生にあつては直近の1カ月当たりの平均学費を、新入生にあつては入学後の1カ月当たりの見込額を記入してください。なお、自宅通学者にあつては、生活費の記入を要しません。

奨学生願書(表)の記載例〔大学・短期大学・高等専門学校〕
第1号様式(第1条関係)

※受付番号	高・大・第 号	性別
※決定番号	ふくしま	男
ふりがな	福島 太郎	
氏名	福島 太郎	
生年月日	平成〇年〇月〇日(満18歳)	
本籍	(住民票本籍を記載どおりに記入)	
現住所	(**実際の居住住所を記入)	
希望事項	電話番号 090 (XXXX) XXXX	
	貸与月額 40,000円	
	平成28年4月から	
	平成32年3月まで	
	円	
勤務先	先	※
又	後	収入(税込) 額
在	学	千円
業	業	千円
職	職	
年齢	年齢	
続柄	続柄	
氏名	氏名	
生計維持者と別居している者には×印をつけること。		
家	× 福島 太郎	私立〇〇大学
族	× 大介	無
の	3 花子	無
状	4 〇〇 姉	無
	× 〇〇 兄	無
	6 〇〇 祖母	有
	7	
	8	
	9	
	10	
計	6名	
連帯保証人	ふくしま だいすけ	こおりやま としお
氏名	福島 大介	郡山 俊夫
生年月日	昭和〇〇年〇月〇日(満〇〇歳)	昭和〇〇年〇月〇日(満〇〇歳)
本人との続柄	父	叔父
	年間収入(税込) 6,800千円	年間収入(税込) 〇〇〇千円
本籍	(住民票本籍を記載どおりに記入)	
現住所	(住民票現住所を記載どおりに記入)	
電話番号	090 (XXXX) XXXX	電話番号 090 (XXXX) XXXX

本籍、現住所は住民票(または居住証明書・在寮証明書)の記載どおり、番地、部屋番号まで正確に記入してください。なお、電話番号(携帯番号)は必ず記入してください。

「貸与金額」は各区分に応じ、該当する金額を記入してください。
ア 国公立大学 35,000円
イ 私立大学 40,000円
ウ 高等専門学校 18,000円

貸与期間は在学する正規の修業期間が4年間の場合は「平成28年4月から平成32年3月まで」となります。

収入金額の書き方がわからない場合は無記入で可。

平成27年度に学生であった者は、「平成28年3月△△学校卒業」と記入してください。

特別の事情(障がい者、長期療養者等)に該当する者を「有」とし、別紙「特別の事情にかかる経費内訳書」により控除の申請が可能です。

「保証人」は、奨学生本人及びその連帯保証人と別居・別生計の成年者で、返還期間中にわたり返還の責めを負うことができる方にしてください。
※ やむを得ない場合を除き65歳以下の方にしてください。

本人と生計を一にする者全員を記入してください。

同一生計で別居している者の番号には、必ず×印をつけてください。なお、家計支持者が別居(単身赴任等)している場合は、別紙「特別の事情にかかる経費内訳書」により経費分の控除の申請が可能です。

住民票を異動せず別居している就学生の控除額は、別紙「居住証明書」の提出がない限り自宅通学扱いとなります。

「連帯保証人」は、原則保護者としてください。

「年間収入」は、平成28年1月～12月までの収入見込を記入してください。

奨学金を希望する理由
兄が県外の専門学校に在学しており、また、父が単身赴任中であることなどから、少しでも家計の負担を少なくするため、奨学金を希望します。

現在受けている、又はこれから受けようとする他の奨学金のための資金
有・無

修学のための資金の名称
日本学生支援機構（第二種）申請中
〇〇教育財団奨学金 申請中

奨学金の種類
貸与・給付
貸与・給付

本人の履歴
年 月 日 履 歴
 H22年 4月 1日 〇〇市立 〇〇中学校入学
 H25年 3月 31日 〇〇市立 〇〇中学校卒業
 H25年 4月 1日 〇〇県立 〇〇高等学校入学
 H28年 3月 31日 〇〇県立 〇〇高等学校卒業
 H28年 4月 1日 私立〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科入学

収入	支出	備考
家庭から 80,000円	生活費 66,300円	
アルバイト等から 40,000円	交通費 8,700円	
県奨学金から 40,000円	学校納付金 80,000円	
その他から	書籍・学用品 5,000円	
	その他	
計 160,000円	計 160,000円	

1カ月当たりの平均学費（収入＝支出）

以上の記載事項に相違ありません。
奨学生として採用された場合は、福島県奨学資金貸与条例その他の関係規程の規定を守り、奨学生としての責務をはたすこととより、奨学資金の返還についても誠実にその義務を履行します。
上記のとおり保証人と連署して誓約します。

平成 28 年 〇 月 〇 日
福島県教育委員会教育長

申請者（自筆） 福島 太郎
連帯保証人（自筆） 福島 大介
保証人（自筆） 郡山 俊夫

併願している場合は、併願先を記入し、奨学金の種類を○で囲むこと。

申請時にわかっている範囲で、毎月の奨学資金の用途を記入していただければ結構です。

「収入計」と「支出計」が同額になるよう内訳を計算してください。

必ず直筆で記入し、申請者、連帯保証人、保証人の印はそれぞれ異なるものにしてください。

採用された場合の奨学資金利用予定について記入して下さい。
（※ 記入例は、県外私立大学に通学している場合を想定し作成）

署名日を忘れずに！

福島県奨学生推薦調書													
氏名		在学 学校									部 制	科	年
出身（在学） 学校の成績	教 科												
	年												
	年												
	教 科												成 績 平 均 値
	年												
	年												
推 薦 所 見 〔学 力〕 〔人 物〕 〔家 庭 状 況〕													
参 考 事 項	(在学学校の学業成績の席次 人中 位)												
<p>上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">学校長（学長） 印</p> <p>福島県教育委員会教育長</p>													
※ 判 定													

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

在学する学校で作成してください

「出身学校の成績」の欄には、大学の場合は、記入を要しません。出身高等学校の成績証明書を添付してください。高等専門学校の場合は、中学校における最終2カ年の全履修教科の成績を、学年、科目（教科）ごとに記入してください。また、卒業後5年以上経過し、成績証明書が取得できない場合は、各学校において、入学試験等の成績により5段階評価に換算してください。

※2年生以上の者が申請する場合は、在学学校の成績証明書の添付も必要です。

「推薦所見」の欄は、申請者の学力、人物、家庭状況等の観点から記入してください。

推薦日の記入をお忘れなく！

大学・学校名を記入してください。

「成績平均値」の欄は、全履修教科（科目）の評定の合計を全履修教科（科目数）で割った値（小数点第2位を四捨五入）を記入してください。

4.4

参考事項がない場合は無記入で結構です。

職印を忘れずに押印してください。

学長印を忘れず記入願います。（ゴム印可）

記載上の注意

- (1) 「※」印の欄は、記入しないでください。
- (2) この調書は、被推薦者の在学する学校等で記入押印してください。
- (3) 「出身（在学）学校の成績」の欄については、当該欄の記載事項と同様の成績証明書等を添付する場合には、記入を要しません。

福島県奨学生推薦調書									
氏名	福島 太郎	在学 学校	私立 〇〇〇〇 大学	部 制	〇〇 科	〇〇 科	1 年	成績平均値	
出身（在学）学校の成績	教 科	年 年	教 科	年 年	年 年	年 年	年 年	年 年	年 年
推薦所見 〔学力 人物 家庭状況〕									
参考事項	(在学学校の学業成績の席次 人中 (位)) 上記の者は、人物及び学術ともに優秀であるが、著しく学費の支弁が困難であり、奨学生として適当と認められますので、推薦します。 平成28年〇月〇日 私立〇〇〇〇大学 学長(学長) 〇〇 〇〇 福島県教育委員会教育長 ※ 判定								

口座振替による支払申出書 [債権者登録 (変更) 申請書]

福島県財務

区分	処理	債権者コード
401		

執行機関名 高校教育課

決定番号	学校名

注：姓と名の間は1文字あけて記入してください。

フリガナ

生徒氏名

フリガナ

氏名 2

記入上の注意

- 裏面の記載例を参考に記入してください。
- 口座名義人は生徒本人にしてください。
- 右下の生徒署名/日付/捺印のもれ注意。
- 振込についての連絡先電話番号を記入。
- 必ず金融機関の確認を受けて下さい。

C#

執行機関

会社区分

住所コード

郵便番号

注：都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目（県外の場合は区市町村まで）を記入してください。

フリガナ

住所

都道府県

電話番号

注：市外局番から記入してください。

注：番地を省略せず記入してください。（県外の場合は大字以下の住所を記入願います。）

フリガナ

番地

注：ビル名、アパート名等を記入してください。

フリガナ

方書

C#

支払方法

1. 口座振替

金融機関名

店舗名

金融機関コード

預金種別（※貯蓄口座は利用できません）

口座番号（右づめ）

1. 普通預金 又は 総合口座

口座名義人（カナ）

備考

※金融機関へのお問い合わせについて
金融機関は、左記の金融機関名、店舗名、金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ) について確認及び記入のうえ下記確認欄に確認印を押印願います。

金融機関確認欄	
確認日	確認者印
金融機関名	
店舗名	

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の扉開き1頁目のコピー（A4用紙）を必ず添付してください。（金融機関確認は不要）
※ 口座番号を訂正した場合や銀行窓口に出向くことができない場合は、通帳（銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁）のA4コピーを添付してください。

福島県知事
上記のとおり申請します。
平成 年 月 日

氏名

印

区分	処理	債権者コード
401		

執行機関名	高校教育課
決定番号	学校名
	〇〇〇〇大学

<記載例>

注：姓と名の間は1文字あけて記入してください。

C#	フリガナ	氏名	フリガナ	氏名
2	フリガナ	福島 太郎	フリガナ	福島 太郎

注：都道府県・区市町村・大字・通称名・町・字・丁目（県外の場合は区市町村まで）を記入してください。

C#	執行機関	会区分	住所	コード	郵便番号
1	フリガナ	福島	福島市杉妻町		960-8688

注：番地を省略せず記入してください（県外の場合は大字以下の住所を記入願います）

C#	フリガナ	番地	フリガナ	住所
	フリガナ	2番地の16号	ケンエイスギツマダンチエートウ201ゴウシツ	ケンエイスギツマダンチエートウ201ゴウシツ

注：ビル名、アパート名等を記入してください

C#	フリガナ	方書	フリガナ	住所
	フリガナ	県営杉妻団地A棟201号室	ケンエイスギツマダンチエートウ201ゴウシツ	ケンエイスギツマダンチエートウ201ゴウシツ

支払方法

C#	1.	口座振替
----	----	------

金融機関名	店名	店番	金融機関コード
東邦銀行	県庁支店		

預金種別（※貯蓄口座は利用できません）

1.	普通預金 又は 総合口座	口座番号（右づめ）
		0099999

口座名義人（カナ）

フリガナ	フリガナ	フリガナ
タロウ	太郎	福島

備考

申請者(学生)本人名を忘れずに！

記入上の注意

- 裏面の記載例を参考に記入してください。
- 口座名義人は生徒本人にしてください。
- 右下の生徒署名/日付/捺印のまれ注意。
- 振込についての連絡先電話番号を記入。
-

日中連絡可能な電話(携帯)番号を記入。

番号から記入してください。

0	9	0	-	X	X	X	X	X	X	X	X
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

実際に居住している住所を(住民票または居住証明書・在寮証明書のとおり)正確に記入してください。

特に「〇〇番地の〇号」の「番地」「の」「号」「建物名」は、記載をそのまま写して下さい！

誤→「△市△2-16」(簡略不可)

金融機関で確認印をもらってください。
※点線矢印の先参照

※金融機関へのお問い合わせ
金融機関は、左記の金融機関
金融機関コード、預金種別、口座番号、口座名義人(カナ)について確認及び確認印を押印願います。

確認日	確認者名
金融機関名	
店舗名	

申請日！

福島県知事
上記のとおり申請します。

平成 28 年 〇 月 〇 日

本人印！

福島印

氏名 福島 太郎

申請者本人(学生)の署名！

※ ゆうちょ銀行のみ、通帳の見開き1頁目のA4コピーを必ず添付してください。(金融機関確認は不要)
※ 口座番号を訂正した場合や銀行窓口に出向くことができない場合は、通帳(銀行名/支店名/口座番号/カナ口座名がわかる頁)のA4コピーを添付してください。

※ 寮生は学校作成の在寮証明書で可

(注) 実際の住所が住民票と異なる場合のみ提出

居 住 証 明 書

下記のとおり相違ないことを証明します。

記

- 1 居住者の氏名
- 2 住居の所在地（建物名・部屋番号も記入してください。）

3 居住の期間

年 月 日から現在（平成 年 月）まで

平成 年 月 日

証明者（住居の所有者又は貸主）

住所

氏名

印

(注) 該当者のみ提出

特別の事情にかかる経費内訳

平成 年 月 日

福島県教育委員会教育長

(生徒名)
申請者

特別の事情にかかる経費については、下記のとおりです。

記

【該当項目】 ※該当する項目の番号に○をつけてください。

1 障がい者がいる。	(該当者	分)
2 長期療養者がいる。	(該当者	分)
3 家計支持者が別居している。		
4 火災・風水害・盗難などの被害を受けた。		

(単位:円)

年・月					月計
平成 年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
年 月					
領収書計					
年間推算額					

(注1)「障がい者がいる場合」：障がい者手帳のコピーを添付してください。
(注2)「長期療養者がいる場合」：病院・医師の「領収書(申込時まで6か月以上継続療養中のもの)」を添付し、年間所要見込額を推算してください。
※「障がい者がいる場合」に該当した場合は重複しての控除はできません。
(注3)「家計支持者が現在別居している場合」：表に家賃・電気・ガス等の費用項目を記入し、各々最新の数ヶ月分の領収書を添付し、年間所要見込額を推算してください。
(注4)「火災・風水害・盗難」：罹災証明書、被害届等を添付し、被害総額を推算してください。
(注5) 証明書類の添付がない場合は控除の対象になりません。

